

## 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般財団法人教育支援グローバル基金

### 1. 主要な事業の成果

一般財団法人教育支援グローバル基金は、2022年4月から2023年3月に、日本全国の高校生、大学生を対象とした人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」を開催した。

#### (1) 奨学金事業

1. **エンデバー2022**：児童養護施設などの社会的養護の施設および里親家庭に暮らす高校生を対象とし、進学準備に際する費用（センター試験受験料、入学検定料など）を年間上限10万円の給付型の奨学金として支給する事業を実施した。

#### 2. **ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2022**：

親との死別・離別を経験している、児童養護施設・里親家庭・生活保護受給世帯に暮らしている、などの困難を経験しながらも、高校卒業後に進学し、社会の力となるべく研鑽を積むことを志す若者たちこそ、今後、人の心の痛みに想いを馳せ、世界や日本のために行動するリーダーになる資質を有しているという理念の下、進学のための奨学金（返済不要）年間50万円を給付。モルガンルイス・バックアス法律事務所からのプロボノ協力の下、応募要件（保護者が死亡、単親家庭である、児童養護施設に暮らしている、里親家庭に暮らしている、生活保護受給世帯に暮らしている、のいずれか）を満たしていることの確認を法的書類によって行った。

#### 3. **ビヨンドトゥモロー インターンシップ・プログラム 2022**：

上記2.のジャパン未来スカラシップ・プログラムを過年度に修了した者で、継続してビヨンドトゥモローの活動に参加することを希望する者を対象に、年間を通じて各種リーダーシップ・プログラムへの参加機会の提供や、キャリア構築にむけた実践的スキル構築のためのサポートを行う「ビヨンドトゥモロー インターンシップ・プログラム」を実施した。

※上記事業の実施以外に、2023年度の奨学金事業の告知・選考活動を2022年度に行った。

#### (2) 人材育成（リーダーシップ・プログラム）事業

2022年度においても、昨年度同様、オンライン・プログラムと対面型プログラムのハイブリッドで人材育成プログラムを実施し、コロナ禍以前よりも高い頻度で仲間同士の交流や学びの機会を提供することができた。年度初めのオリエンテーション・プログラムや夏のサマー・プログラムを対面で開催したほか、3年ぶりに奨学生以外の学生も参加可能な『ジャパン未来リーダーズ・サミット』を40名規模で実施した。また、ジャパン未来スカラシップ・プログラム2020年～2022年度に参加した奨学生を対象に、海外研修を米国ハワイにて実施した。

1. **3月スプリング・プログラム 2022** 2022年3月23日～25日（沖縄県）  
21年度奨学生と合同開催という形で、エンデバー2022、ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2022、インターンシップ・プログラム 2022を対象に、沖縄県にて3泊4日の対面プログラムを実施した。オンラインでのプログラムが中心となった21年度の学生がリーダーとなり、新年度の学生をリードし、「社会におけるダイバーシティ」のテーマについてフィールドワーク、現地大学院生を交えたディスカッション、最終日には提言発表を行った。自然体験では琉球村訪問やシュノーケリングなど、沖縄の歴史や魅力を満喫し、学生同士の親睦を深めた。
2. **オンライン・プログラム 2022** 2022年4月～2023年1月（オンライン：5回開催）  
エンデバー2022参加者（以下、エンデバー）、ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022参加者を対象とし、年度初めのオンライン・プログラムや、様々な分野で活躍するゲストスピーカーによる講演を行った。将棋棋士の羽生善治氏や認定NPO法人夢職人代表岩切準氏、認定NPO法人very 50菅谷亮介氏などをお招きし、学生が自らの生き方や将来の選択肢について考えるための機会を設けた。また、5月にはアコム株式会社の協力により、金融の基本的な知識や金融リテラシーを高めるための特別講座を開催した。
3. **サマー・プログラム** 2022年8月11日～14日（東京都）、8月16日～19日（長野県）  
ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022参加者を対象とし、日本にいながらにして世界に視野を広げる事を目的に、「サマー・キャンプ2022」を開催した。日本に滞在する様々な国籍や背景を持つ方々と出会い、彼らを取り巻く課題を考え、「グローバルシチズンとしてのダイバーシティ」を実現するための提言を学生が作成・発表した。また、エンデバー2022参加者を対象に、長野県にて実施した「エンデバー サマー・リトリート2022」では、「若者の挑戦」をテーマに、長野県での様々な経験や出会いを通して自らの将来やキャリアに対する考えを深め、最終日には関係者にむけてエンデバー（高校生）による提言発表を行った。
4. **ジャパン未来リーダーズ・サミット** 2022年10月8日～10日（東京都）  
親との死別・離別や、児童養護施設で生活しているなど、様々な事情により機会を得ることが難しい状況にありながらも、広く社会のために役立つ人材となる志をもつ全国の高校生・大学生を対象に、本サミットでは、多様な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、「若者が孤独から立ち上がれる社会の実現」をテーマに、提言をグループ毎にまとめ、最終日には政治・行政・ビジネス・メディア・NGOなど各方面のリーダーたちの前で発表する機会を提供。「体験共有」「スピーカーセッション」「ディスカッション」「提言作成」など様々なモジュールを通じて、幅広い領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、孤独を抱える若者が自立していくために必要な施策について提言をまとめ、最終日の閉会式で発表した。ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022に参加する大学生たちがリーダーとして、高校生たちの活動をサポートする役割を果たした。
5. **春季グローバル研修 米国スプリング・プログラム 2023 ～村瀬二郎記念奨学事業～ 2023年3月20日～28日（東京都／事前研修・米国ハワイ州）**  
ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022に参加する奨学生に加え、コロナ禍において夏季グローバル研修を実施できなかった2020年、2021年に奨学生として参加した大学生を対象に、米国での研修を実施した。アメリカ社会の「多様性と共生」をテーマに、いかに米国の多様性がアメリカという国を今日の姿にしてきたか、そしてより良い共生社会の実現について考えた。渡航前には、米国やハワイ、日本における多様性のリサーチを行ったほか、東京での事前研修として英語コミュニケーションワークショップを協賛企業の社員ボランティアの方々による協力のもと実施した。現地ではハワイ大西洋大学や私立小学校等の教育機関を訪問し学生と交流し、ボランティア活動、半日ホームステイ体験、企業訪問等を行った。学びの集大成として、個々の学びについてのプレゼンテーションや、チームで多様性に関する提言発表を行った。
6. **クロージング・プログラム** 2023年3月18日（オンライン）  
1年間にわたる奨学金事業に参加した高校生・大学生たちが、一年間のプログラムの集大成となる「クロージング・プログラム」に参加し、4時間のオンライン・プログラムに臨んだ。1年間にわたる活動を総括した上で、今後、一人ひとりがどのようなリーダーシップを発揮していくかを描くためのディスカッションやプレゼンテーション作成の機会を設けた。また、米国の非営利団体で代表を務めるゲストがプログラムに参加し、ビヨンド トゥモローでの経験をいかにその後の人生に活かすことができるかについて考えるセッションも開催した。

## (年間奨学事業)

事業名	対象者	実施内容	人数	支出額 (円)
エンデバー 2022	児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている、 または里親家庭に暮らしている高校生 (2021年度に2年次、 3年次に在籍)	全国を対象とした告知により公募を 行い、書類選考、面接選考により、 2021年度の参加者の選抜を実施	10名	¥164,800
ジャパン未来 スカラシップ・ プログラム2022	2021年度に、大学・短大・専門学校に新たに進学する者 で、及び、下記条件のいずれかを満たす者。 ・保護者が死亡 ・単親家庭である ・児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている ・里親家庭に暮らしている ・生活保護受給世帯に暮らしている	全国を対象とした告知を行い、書類 選考、面接選考により、2021年度の 参加者の選抜を実施	11名	¥5,750,000

## (リーダーシップ・プログラム事業)

事業名	日時	開催場所	対象者	人数	内容	支出額 (円)
3月スプリ ング・プロ グラム 2022	2022年3月23日～ 25日	沖縄県	エンデバー2021 ジャパン未来スカラシップ・プログラム2021 フェローシッププログラム2021 エンデバー2022 ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022 インターンシップ・プログラム2022	33名	21年度奨学生と合同開催という形で、エンデバー2022、ジャパン未来スカ ラシップ・プログラム2022、インターンシップ・プログラム2022を対象 に、沖縄県にて3泊4日の対面プログラムを実施した。オンラインでのプロ グラムを中心とした21年度の学生がリーダーとなり、新年度の学生をリード し、「社会におけるダイバーシティ」のテーマについてフィールドワーク、現 地大学院生を交えたディスカッション、最終日には提言発表を行った。	¥770,630
オンライン・ プログラム 2022	2022年4月～2023 年3月(オンライ ン:6回開催)		エンデバー2022 ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022	24名	エンデバー2022参加者(以下、エンデバー)、ジャパン未来スカラシッ プ・プログラム2022参加者を対象とし、年度初めのオンライン・プログラム や、様々な分野で活躍するゲストスピーカーによる講演を行った。	¥88,793
サマー・プロ グラム	2022年8月11日～14 日(東京都)、8月 16日～19日(長野 県)	東京都 長野県	ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022 エンデバー2022	20名	ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022参加者を対象とし、日本にいな がらにして世界に視野を広げる事を目的に、「サマー・キャンプ2022」を開催 した。 エンデバー2022参加者を対象に、長野県にて実施した「エンデバー・サマー・ リトリート2022」では、「若者の挑戦」をテーマに、長野県での様々な経験や 出会いを通して自らの将来やキャリアに対する考えを深めた。	¥3,716,708
ジャパン未来 リーダーズ・ サミット	2022年10月8日～ 10日	東京都	親との死別・離別や、児童養護施設で生活してい る全国の高校生・大学生 ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022 エンデバー2022	44名	「体験共有」「スピーカーセッション」「ディスカッション」「提言作成」な ど様々なモジュールを通じて、幅広い領域で活躍するリーダーたちによるアド バイスの下、孤独を抱える若者が自立していくために必要な施策について提言 をまとめ、最終日の閉会式で発表した。	¥7,640,638
春季グロー バル研修 米 国スプリ ング・ブ ログラム 2023 ～村瀬二 郎記念 奨学事業～	2023年3月20日～28 日	東京都・ 米国ハ ワイ州	ジャパン未来スカラシップ・プログラム2022 に参加する奨学生に加え、コロナ禍において夏季 グローバル研修を実施できなかった2020年生、 2021年生から選抜	10名	東京での事前研修として英語コミュニケーションワークショップを協賛企業 の社員ボランティアの方々による協力のもと実施した。現地ではハワイ大 西洋大学や私立小学校等の教育機関を訪問し学生と交流したり、ボラン ティア活動、半日ホームステイ体験、企業訪問等を行った。学びの集大成 として、個々の学びについてのプレゼンテーションや、チームで多様性 に関する提言発表を行った。	¥10,002,746